

令和 6 年度第 3 回放送番組審議会

■開催日時

令和 7 年 3 月 14 日（金）16:00～18:00

■開催場所

秋田市にぎわい交流館 AU

■出席委員（7 名）

放送番組審議委員会会長	景山 陽一
放送番組審議委員	服部 洋之
	加藤 光平
	栗原 エミル
	伊藤 かすみ
	時田 修
	三富 章恵
	（順不同・敬称略）

■事務局出席者

代表取締役社長	末廣 健二
テクニカルクリエイト本部長	安保 達成
テクニカルクリエイト本部マネージャー	斉藤 洋樹
テクニカルクリエイト本部サブマネージャー	三浦 明之
TEAM CNA CREATION チームリーダー	尾形 祐三
TEAM CNA CREATION サブリーダー	矢口 正平
コーポレート本部サブマネージャー	佐藤 義夫
コーポレート本部	奈良 亜湖

■議事

- ・事務局からの報告事項
- ・自主放送番組についてのご意見

■視聴課題番組

番組名
① アンケート調査バラエティ「あきた×ゆりほん TV」 #5「おすすめの日帰り温泉」
② 壮観劇場 #42 「湧水と大噴湯」

■放送番組審議委員会からのご意見

【①アンケート調査バラエティ「あきた×ゆりほん TV」 #5「おすすめの日帰り温泉」】

- ・秋田市と由利本荘市、それぞれのおすすめ施設を聞き取りしてランキングしているが、以前審議会で指摘した「アンケートの信憑性を担保するため得票を伝える」点がきちんと明示されていたのでよかった。
- ・アンケートに答えていた方々が推す理由が、温泉の泉質にとどまらず、つば湯や岩盤浴なども体験レポートしていて、ぜひ行ってみたい、体験してみたいと思わせてくれる内容だった。
- ・インタビューの量や種類も豊富で掛け合いもあり、とても良いバランスだったと思う。
- ・温泉の番組と言いながら、温泉の情報が少なく残念でもう少し温泉の紹介が欲しい。
- ・温泉の情報として、成分や効能表示をもう少ししっかり見せてあげたほうが良いと感じた。
- ・温泉に入るとカメラが曇ってしまう点は、レンズにドライヤーを当てると良いので試してみてほしい。
- ・施設へのアクセスは分かりやすかったが、早送り映像がずっと続くので全て遠い距離間のように錯覚してしまう。映像内にマップ画像を付け足してみてもよいのではないか。
- ・視聴者はこの番組をきっかけに初めて行く方多いと思うので、由利本荘市のどもあたりに施設があるのか画像を付けると土地勘のない方にも親切だと感じた。
- ・シリーズもので#5 のため、導入部分は少し長く感じ、工夫が必要と感じた。

【②壮観劇場 #42 「湧水と大噴湯」】

- ・美郷町の湧水と湯沢市の川原毛地獄や小安峡大噴湯を高画質で見ることができ、さらにドローンも活用し映像の力をいかに発揮していて、まさに壮観だと感じた。
- ・美郷町の湧水は絶滅危惧種のイバラトミヨの生息地でもあり、水中の様子の映像がとても新鮮だった。
- ・研究者から「人の住みたいところはトミヨも住みたい場所」という言葉を引き出したのは、メッセージ性としても大変よかった。
- ・イバラトミヨの巣を探すシーンは、なかなか見つからずリアルでドキュメンタリー感があって興味深かった。
- ・音声の仕上げる点では、水のシーンの時に音楽が多すぎると感じもったいなかった。
- ・より視聴者の心（耳）に残る演出にするため、あえて音楽は流さず、水の音だけを際立たせたほうが効果的だと感じた。
- ・構成として映像と映像のつながりがもう少しあればよかった。
- ・スタートから映像、ナレーション、音楽も全てクオリティが高く圧倒された。
- ・環境保全や地域の景観、大自然の豊かさが大切であることを感じさせる映像で素晴らしかった。